

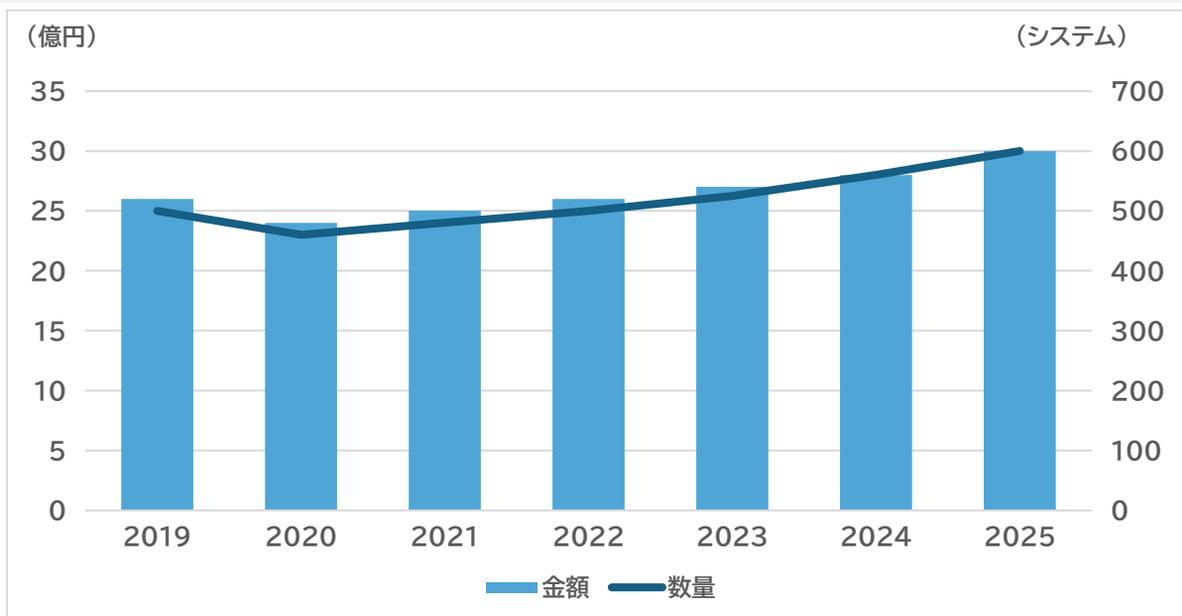
2023年7月19日
株式会社SVPジャパン

SVP注目市場分析 「FEMS (ファクトリーエネルギーマネジメントシステム)」を公開 ～工場全体のエネルギー使用量を把握し、省エネ対策を進める～



会員企業に対して公開情報を用いたビジネス情報提供を行う、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポートの「FEMS (ファクトリーエネルギーマネジメントシステム)-国内市場の現状と将来展望-」について会員企業向けに公開いたしました。

■ FEMS (ファクトリーエネルギーマネジメントシステム)の国内市場



FEMSの市場規模は、2022年のメーカー出荷金額が約26億円（ハードウェア/ソフトウェアの出荷金額を対象とし、設計費や工事費は含まない）、導入数が約500システムであったと推定される。

市場規模の推移としては、東日本大震災後、大規模な工場への導入が一巡したことから、最近では市場の成長率が鈍化していた。また、2020年はコロナ禍で製造業の設備投資が中止・先送りされた影響を受けて、FEMSの市場も大幅に縮小した。2021～22年にかけては、設備投資が回復に転じる中でFEMSへの投資も上向き、2022年には2019年の水準まで市場規模が回復したものと推定される。

■ FEMS (ファクトリーエネルギーマネジメントシステム)の市場概況

- ・カーボンニュートラルに向けた取り組みや電力需給の逼迫を背景に、工場の省エネ対策がますます強く求められる。
- ・その省エネ対策の有効な手段の一つとして、FEMSに注目が高まる。
- ・2021年には、日本の提案を受けて、FEMSの国際標準の開発が開始され、2023年9月にも国際標準が発行される予定となっている。
- ・こうした背景から、今後、より効率的なFEMSへの設備の更新、中小の工場を含めた市場の裾野の拡大が進み、FEMSの市場拡大に徐々に弾みがつくと予測される。
- ・具体的な設備としてのFEMSは、主装置（ローカルサーバー、ソフトウェア）、計測・制御機器、ネットワーク機器などで構成される。本レポートではFEMSを構成するこれらのハードウェア/ソフトウェアの国内市場を調査対象とする。



■ 本レポートの構成

- I.市場の定義
- II.市場動向
- III.市場規模・予測
- IV.マーケットシェア
- V.参入企業の動向
- VI.業界構造

■ 本レポートの購読について

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
ご希望の場合は、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

[お問い合わせは、こちらをクリック](#)



資料請求

お問い合わせ

[SVP会員の方は、こちらをクリック](#)



会員サイト

■ 次回のテーマ

8月のテーマは、「次世代自動車」と「再生医療・細胞治療製品」です。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール・・・毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名： 株式会社SVPジャパン
代表取締役： 橋本 雅
所在地： 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日： 1974年7月1日
事業内容： 会員制のビジネス情報提供サービス
URL： <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン デジタルマーケティング部
info@svpjapan.com